

AJA KONA™ ソフトウェアインストーラー

リリースノート - Linux v14.0.1: Redhat / CentOS

重要な記載事項 - 必ずお読みください

対応 OS

- ・このドライバー/ソフトウェアは、Redhat/CentOS 7 と互換性があります。
- ・インストールを開始する前に、以前のバージョンの AJA ソフトウェアをすべてアンインストールしてください。

```
sudo yum remove ajantv2-dkms
```

(また、ajantv2-dkms パッケージに依存するため、すべての“ajaretail”を削除してください)

- ・“DKMS ドライバー” および “AJA リテールソフトウェア” の 2 パッケージがインストールされます。

- ・DKMS ドライバーインストーラーでは、以下のパッケージが必要になります。

```
sudo yum install epel-release
```

- ・ドライバーインストーラーは、ルートシェルもしくはルート権限を持った上で実行しなければいけません。

```
sudo yum install ajantv2-dkms-14.0.1-00.noarch.rpm
```

- ・AJA リテールソフトウェアは、ルートシェルもしくはルート権限を持った上で実行しなければいけません。

```
sudo yum install ajaretail-14.0.1-00.x86_64.rpm
```

- ・推奨のハードウェアおよび要求事項についての詳細情報については、下記リンクをご確認ください。

<http://www.aja.com/en/support/kona-pc-system-configuration/>

ソフトウェア

以下のソフトウェアバージョンは、このインストーラーとのご使用を推奨します。

Control Room v14.0.1、Control Panel v14.0.1、System Test v14.0.1

GPU アクセラレーションによるデスクトップ表示の場合は、Open CL ver 1.2 以上の高性能な GPU が必要になります。

v14.0.1 の新機能

全般

- ・ Linux インストール最適化

AJA KONA 4

- ・ SDI 入力のクアッド入れ替え機能を追加
 - ・ チェックを入れた場合（デフォルトはチェックが入った設定になっています）、クアッド入力の SDI クアドラントマッピングを1対1（Quad 1 = SDI 1、Quad 2 = SDI 2、Quad 3 = SDI 3、Quad 4 = SDI 4）から、Quad 1 = SDI 3、Quad 2 = SDI 4、Quad 3 = SDI 1、Quad 4 = SDI 2 に変更します。
- ・ SDI 出力のクアッド入れ替え機能を追加
 - ・ チェックを入れた場合（デフォルトはチェックが入った設定になっています）、クアッド出力の SDI クアドラントマッピングを1対1（Quad 1 = SDI 1、Quad 2 = SDI 2、Quad 3 = SDI 3、Quad 4 = SDI 4）から、Quad 1 = SDI 3、Quad 2 = SDI 4、Quad 3 = SDI 1、Quad 4 = SDI 2 に変更します。

v14.0.1 での修正点および改善点

- ・ 2SI（ツーサンプルインターリーブ）での UltraHD フォーマット HDMI の出力における不具合を修正
- ・ 4K 出力の際に SDI 3 からの出力が欠けている不具合を修正
- ・ SD 出力でのクローズドキャプション機能の不具合を修正
- ・ コントロールパネル上でのインプット・パススルー画面で、挙動を正しく表示するよう修正（HDMI ダウンコンバート時）
- ・ Python モデルを使用できるよう改善
- ・ キャプチャー中に、AJA コントロールルーム上でリップシンクずれのエラーメッセージが表示されてしまう不具合を修正（キャプチャー動作自体には問題はありません）

v14.0 で廃止になった機能

KONA 4 ファームウェア

- ・ クアッドリンク SDI 入力は、HDMI 出力では UHD として認識することができなくなっています。その代わりに、HDMI 出力は HD モニタリングとしてダウンコンバートされるようになります（この制限は、**2 サンプルインターリーブ（2SI）入力ソースには適用されません**）。
- ・ ハイフレームレート非対応のモニターで HDMI プレイバックを容易にするために、ハイフレームレート素材の信号を間引くことはできなくなりました。

以前のリリースでの修正点および改善点

v14.0

- ・ AJA コントロールルームにおいて、Batch Capture ビン画面に VTR オンライン/オフラインアイコンを追加
- ・ AJA コントロールルームにおいて、“OK” をクリックした際にバッチキャプチャーの間に、デバイスオフラインのダイアログが表示されず、ループしてしまう不具合を修正
- ・ AJA コントロールルームにおいて、DPX Cineon ヘッダーシークエンスのプレイバックでのタイムコード不具合を修正
- ・ AJA コントロールルームにおいて、プレイバックビューワーに読み込まれたクリップが削除される不具合を修正
- ・ KONA LHi および KONA LHe Plus アナログコンポーネント入力で HD フォーマットを認識しない不具合を修正

v13.0

- ・ KONA IP SMPTE 2022-6/7 ファームウェアを追加
- ・ TR-01 準拠 JPEG2000 ワークフロー向けのファームウェアオプションを追加
- ・ AJA コントロールルームにおいて、最大 4K 60p までの DNxHD および DNxHR (mov) のキャプチャー、モニタリングおよび出力対応を追加
- ・ AJA コントロールルームにおいて、アプリケーションプリセットの保存および呼び出し機能を追加
- ・ AJA コントロールルームが起動しない場合、Shift キーを押しながら起動すると設定をリセットもしくはソフトウェアのみのモードを使用することが可能に
- ・ AJA コントロールルームにおいて、Scripting を有効にすると “バックグラウンドでデバイスを保持する” 設定が自動的に動作する機能を追加
- ・ AJA コントロールルームにおいて、16 ビット および 24 ビットオーディオのキャプチャーに対応

- ・ AJA コントロールルームにおいて、ビデオ再生およびキャプチャー時の両方にタイムコード焼き付け機能を追加
- ・ AJA コントロールルームにおいて、ビデオ再生およびキャプチャー時の両方にクローズドキャプション焼き付け機能を追加
- ・ AJA コントロールルームにおいて、VTR 制御機能を追加
- ・ AJA コントロールルームにおいて、メディアファイル再生時にオーディオトラックの再ルーティングが可能に
- ・ AJA コントロールルームにおいて、新しいドロップダウンメニューとプリセット保存機能を含む、4K/UltraHD を HD にダウンコンバートして、SDI 3 へ出力するメニューを追加

このリリースでサポートされる製品

- | | |
|------------|-----------------|
| ・ KONA 4 | ・ KONA LHe Plus |
| ・ KONA 3G | ・ KONA IP |
| ・ KONA LHi | |

既知の問題

全般

- ・ KONA や Io のデバイスを使用時、システムをスリープにしないでください。オペレーティングシステム設定で、スリープおよび省電力モードを無効にする必要があります。
- ・ KONA LHi はオーディオシステムを 1 つしか持っていないため、キャプチャーや出力で同時に使用できるオーディオは 1 系統のみに制限されます。同時に複数チャンネルの入力と出力に対応したアプリケーションでは、SDI 入力にはオーディオも入りますが、HDMI 入力にはオーディオは入りません。加えて、入力と出力それぞれが一度に独立した状態で使用される場合（入力からのパススルー出力ではなく）、1 チャンネルのみオーディオが入ります。